

平成18年度勤務部会報告

委員長 佐藤重子

委員 土子隆子、鈴木佳代子、田口美沙、高橋綾

1. 委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
4月22日	活動目標の決定	1. 活動目標の決定 2. 役員の役割分担の決定 3. 研究スケジュールの決定	増永、佐藤、土子、鈴木、田口
5月12日	研究計画書の作成	1. 研究計画書の作成 2. アンケートの検討	佐藤、土子、鈴木、田口、高橋
6月9日	助産所・施設見学について 研究について	1. 助産所見学案の作成 2. 施設見学案の作成 3. 研究計画書の検討	佐藤、土子、鈴木、田口、高橋
7月21日	研究について	アンケートの検討	佐藤、土子、鈴木、田口
8月11日	研究について	アンケートの検討	土子、鈴木、田口
9月2日	研究について	アンケートの検討	佐藤、土子、鈴木、田口、高橋
10月7日	研究について	アンケートの検討	佐藤、土子、鈴木、田口
11月4日	助産所・施設見学について 研究について	1. 助産所・施設見学案の修正 2. アンケートの検討	佐藤、土子、鈴木、田口
12月8日	研究について	1. アンケートの検討・プレテスト	佐藤、土子、鈴木、田口、高橋
19年 1月12日	研究について	1. アンケートの修正	佐藤、土子、鈴木、田口、高橋
2月9日	研究について 助産所・施設見学について	1. アンケート発送準備 2. 助産所・施設見学誓約書についての検討	佐藤、土子、鈴木、田口、高橋
3月15日	研究について	1. アンケートの集計	佐藤、土子、鈴木、田口、高橋

2. 18年度委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 勤務助産師が専門性を発揮し自律した助産活動が行なえるよう資質の向上を図る。	1. 勤務助産師に関する研究に取り組む。	<p>勤務助産師における分娩時の安全管理に対する実態調査について研究をおこなった。しかし、リスクマネジメントは大きくどこに視点を絞るのか、アンケートの内容で行きつ戻りつ時間がかかり、計画通りに進まなかった。</p> <p>平成19年2月にやっとアンケートが配布できたところである、分析を今後おこなう予定である。</p>
2. 助産師のアイデンティティを維持し、エンパワメントしながら活動・成長していくことができるよう支援する。	<p>1. 助産所部会・保健指導部会・教育委員会と連携をとり、助産所及び施設見学実習の計画・立案ができる。</p> <p>2. 助産所及び施設見学実習の実施ができる。</p> <p>3. 研修を受けた助産師が今後に向けて、自己啓発の機会にすることができる。</p>	<p>助産所見学実習（案）・施設見学実習（案）の作成は出来た。しかし内容について3部会での話し合いの場が持てなかった。</p> <p>よって、実習を実践するまでには至らなかった。</p>

3. 次年度（19年度）課題

- 1) 研究結果のまとめ
- 2) 3部会の連携による、助産所・施設見学の実施
- 3) リスクマネジメントへの取り組み(3部会合同)